平成29年度 第1回 大学2年生と札幌圏企業若手社員との交流会 開催結果概要

1 日時

平成 29 年 11 月 9 日 (木) 17:00~19:00

2 場所

キャリぷら plus 北海道(中央区南1東3)

3 参加学生

13名(男性7名、女性6名)

※参加大学:北海道大学、北海学園大学、北翔大学

4 就活サポーター ※あいうえお(企業名)順

企業名	氏名	性別	備考
アラヤサッポロ㈱	高橋 歩	女性	
千歳市役所	坪田 佳之	男性	平成 28 年度オブザーバー
(株)ノヴェロ	大塚 洋平	男性	平成 28 年度参加実績あり
北海道銀行道庁支店	永田 美咲	女性	

5 スケジュール

·16:30~17:00 受付

・17:00~18:45 テーブルトーク

・18:45~19:00 フリートーク

6 実施概要

(1) テーブルトーク

学生は1テーブル3~4名に分け、合計4テーブル編成。各テーブルに就活サポーター1名がつき、20分で次のテーブルへ移動し、一巡したところで終了としました。

仕事の内容、日常生活の様子、札幌圏で働いたり暮らしたりする魅力について語りました。

●学生からの質問(一部抜粋)

- ・どういった職につくかに関わらず学生のうちにしておいたほうが良いことはあるか
- ・仕事が決まるまでの過程はどのようなものか。
- ・将来のことがよくわからない。(まだ就職のことを考えていない。)
- ・ 今の生活で一番の楽しみは?





(2) ワークシート

テーブルトーク終了後、学生に交流会を経て感じたこと等について、あらかじめ配布しておいたワークシートに記載していただきました。(以下、一部抜粋)

●交流会でわかったこと、思ったこと、不安が解消されたことなど

◆土地に関すること

- ・やはり札幌はいいなと思ったが、いったん道外に出て違うことを知ったり、もっと北海 道の良いところを見つけられたらいいなと思った。
- ・札幌で働く良さがわかった。
- ・北海道には可能性があるということ。最終的には北海道に戻ってきたいと思った。

◆就職に関すること

- ・仕事にはやりがいが必要で、また仕事以外でも趣味等、心の支えが必要だとわかった。
- ・どの人も就職する前にやりたいことや得意と思うところを持って活動していた。
- ・自分が思っていたよりも、就職のきっかけは小さいものなんだなと感じた。

◆社会人の生活に関すること

・細かい仕事の内容や空気感がわかった。

- ・色々な人から働く理由ややりがいなどを聞けてよかった。
- ・各企業の方の1日の生活の流れがわかった。
- ・どこかで妥協点を見つけなければならない、その場その場でやりがいが見つかる
- ●交流会を通じて、札幌圏で働くことが、あなたにとってあっていると思った点
- ・静かな環境で過ごしたいと思った。
- ・街がコンパクト、通勤時間を考える必要がない、交通の便が良い。
- ・東京の暮らしづらさを聞いて、住み慣れた札幌で働くのが性にあっていると思った。
- ・仕事以前に、住みやすく身寄りが近くにいるのは大きいと思った。
- ・自分が生まれ育った地に貢献できること。

●もっと聞いてみたいこと

- ・仕事のモチベーション、休日の過ごし方。
- ・就活に向けて、やっておいたほうが良いことは具体的にどんなことか。
- ・大学時代にやってよかったこと、やっておくといいことはなにか。
- ・仕事していて辛かったこととやりがいを感じたこと。

(3) フリートーク

就活サポーターが会場前方に並び、学生から手挙げ方式で質問を受け、回答。テーブルトークで聞きそびれたことや、より深く聞きたいことなど学生からの自由発言の時間としました。(以下、一部抜粋)

(学生)

どういう学生に入社してほしいか

(サポーター)

- ・どういうことを率先してやってきたか。変わったことをやっている人がほしい。
- ・ちゃんとコミュニケーションを取れる人。続けてきたことなど自信を持てることがある人。
- ・この人と働きたいと思う人。コミュニケーションを取れる人や経験を積んできた人。
- ・根が真面目で、コツコツと物事を続けられる人。

(学生)

逆にこういう人とは働きたくないなという人は

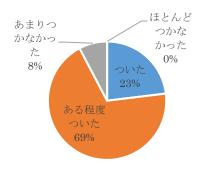
(サポーター)

- ・暗くて挨拶や生活態度の悪い人。
- ・覚えようとする姿勢の見えない人。
- ・自分のものさしでしか測れない人。



7 終了後アンケート

①札幌ではたらく社会人のイメージはつきましたか。



②本日の交流会の満足度を教えてください。

